



宮前中だより

さいたま市立宮前中学校
学校通信 No. 3
令和3年6月1日(火)

さいたま市西区宮前町1467-1 Tel 623-7381 e-mail: miyamae-j@saitama-city.ed.jp

『真剣だと知恵が出る 中途半端だと愚痴が出る・・・』

校長 大木 克巳

『正範語録』

実力の差は努力の差

実績の差は責任感の差

人格の差は苦勞の差

判断力の差は情報の差

真剣だと知恵が出る

中途半端だと愚痴が出る

いい加減だと言い訳が出る

本気でするから大抵のことはできる

本気でするから何でもおもしろい

本気でしているから誰かが助けてくれる

右の『正範語録』は、私の好きな言葉の一つです。作者は不明ですが、中央部分の太字部分は、戦国武将の武田信玄公の言葉だと伝えられています。コロナ禍の学校の教育活動を振り返り、つくづくこの言葉の意味深さを考えました。

5月25日に、晴天に恵まれ宮前中学校では体育祭を実施しました。昨年に引き続き、保護者・来賓の参観はない短縮された内容でしたが、生徒達は真剣に競技に取り組み、体育祭は大いに盛り上がりました。新聞、ニュース報道などでは、感染症が治まらない地域では、今年も体育祭などの学校行事を中止した小・中学校が多くあるようです。体育委員長の宣誓に「今日、体育祭

が開催されることに感謝し、日頃の成果を十分に出し切りましょう」というような言葉がありました。宮前中の生徒は「本気でするから何でもおもしろい」を見事に体現していました。

さて、その翌日に私は3年生に残念なお知らせをしなければなりません。「修学旅行の中止」です。中学校生活最大の行事であり、3年生は今まで多くの時間をかけて事前学習を行い、班別コースやクラス別コース、体験学習などについて書籍やインターネットで調べ学習を行ってきました。私も3年生が調べた内容を楽しそうに発表する授業を何度も見させてもらいました。また、旅行行事担当の先生が春休み中に、現地見を行ったり、夜遅くまで資料作りを行ったり、更に感染症対策には最大限の注意を払いながら立案された修学旅行を中止にすることは非常に残念でした。2年時の鎌倉校外学習の時も同じ状況でした。感染症対策のため、大宮から鎌倉までの専用列車の予約手配をし、コースを鎌倉駅から電車やバスを使用せず、徒歩圏内のコース作りをするなど担当者は最大限の努力をしてくれました。私が嬉しかったのは、実施に向けて真剣に知恵を出し、中止になっても愚痴を言わなかったことです。3月に行った各学年の校外学習や体育祭、中止にはなりましたが修学旅行で、実施に向けて知恵を出し合った教員集団を私は誇りに思っています。

余談ですが、修学旅行の実施の可否について、悩んでいる時に、あるお父さんから電話をいただきました。校長や3学年が実施可能な方法を模索していることへの感謝の電話でした。お名前はわかりませんが、お父さんの言葉に勇気づけられました。感謝申し上げます。

「本気でしているから誰かが助けてくれる」

部活動対抗リレー入場場面
本気で楽しむテニス部と顧問

